

2021年1月31日

関係各位

一般社団法人全日本テコンドー協会

「FISU ワールドユニバーシティゲームズ (2021/成都) キョルギ日本代表選手・  
選考基準」の改正について

第14回全日本学生選手権大会(2021年2月14日:兵庫県立武道館)の開催中止に伴い、  
表題の件について下記の通り改正しましたのでお知らせ致します。

記

1. 改正箇所: 「4. 選考基準」について、

新	旧
4. 選考基準 (1) 選考対象者(選考会出場資格) 選考対象者は、次の①から⑦の全てを満たし、且つ、⑧を満たす者とする。 ①(現行通り) ②(現行通り) ③(現行通り) ④(現行通り) ⑤(現行通り) ⑥(現行通り) ⑦(現行通り) (削除) ⑧第14回全日本選手権大会(2021年3月7日:駒沢体育館)において1位、2位または3位に入賞した者	4. 選考基準 (1) 選考対象者(選考会出場資格) 選考対象者は、次の①から⑦の全てを満たし、且つ、⑧ <u>または⑨の何れか</u> を満たす者とする。 ①当協会に個人会員として登録されている日本国籍を有する者 ②大学生である者(2021年4月現在、現役大学生であり、且つ、大会期間〔2021年8月18日~29日〕中においても大学生である者。大学院生は含まない。) ③18歳~25歳の者(1996年1月1日から2003年12月31日の間に生まれた者) ④FISUワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都)でメダル獲得を目指す日本テコンドー界の期待に応え得る競技力を持つ者 ⑤当協会の定める定款、倫理規程その他諸規程を遵守している者 ⑥その心身の健康状態等に照らし、FISUワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都)に参加できる見込みのある者 ⑦当協会の強化計画を優先して活動できる者 ⑧ <u>第14回全日本学生選手権大会(2021年2月14日:兵庫県立武道館)にて選考階級において1位、2位または3位に入賞した者</u> ⑨第14回全日本選手権大会(2021年3月7日:駒沢体育館)にて選考階級において1位、2位または3位に入賞した者

<補足説明>

当初の選考基準では、全日本学生選手権大会もしくは全日本選手権大会にて選考階級において1位、2位または3位に入賞した者としていましたが、全日本学生選手権大会の開催が中止となったことから、前頁の表のように改正しました。

4月に開催する最終選考会への出場資格は、①～⑦の条件を満たし、且つ全日本選手権大会において何れかの階級で3位以内に入賞していれば出場可能とし、かつ選考会への参加申込時には階級変更を可とします。

- (例1) 全日本選手権大会において女子49kg級で3位以内に入賞した選手は、①～⑦の条件を満たしていれば、4月の選考会において女子46kg級、女子53kg級を含む、何れの階級で出場可能。
- (例2) 全日本選手権大会において男子68kg級で3位以内に入賞した選手は、①～⑦の条件を満たしていれば、(男子68kg級は選考階級ではあるが)4月の選考会において、男子63kg級等に階級変更して出場することも可能。

以上

# FISUワールドユニバーシティゲームズ（2021/成都）

## キョルギ日本代表選手・選考基準

2021年1月12日制定

2021年2月8日改正

一般社団法人全日本テコンドー協会

### 1. 本基準の目的

FISUワールドユニバーシティゲームズ（2021/成都）（8月：中国）におけるキョルギ種目の日本代表選手選考について次のとおり定める。

### 2. 派遣方針

2024年オリンピック競技大会（パリ）、2026年アジア競技大会（名古屋）を見据えて若手選手を強化する観点から、国内最高レベルの現役大学生選手をもって派遣選手を推薦する。

### 3. 選考実施日・選考手続

- (1) 2021年4月(予定)にFISUワールドユニバーシティゲームズ（2021/成都）キョルギ日本代表選手選考会を実施する。（選考会の実施日を選考実施日とする。）
- (2) 強化委員会は、選考実施日に本選考基準に従って代表選手の選考を実施し、その結果を理事会に上程する。
- (3) 理事会にて、本選考基準に則して選考されているか審議し、確定する。

### 4. 選考基準

#### (1) 選考対象者（選考会出場資格）

選考対象者は、次の①から⑦の全てを満たし、且つ、⑧または⑨の何れかを満たす者とする。

- ① 当協会に個人会員として登録されている日本国籍を有する者
- ② 大学生である者（2021年4月現在、現役大学生であり、且つ、大会期間〔2021年8月18日～29日〕中においても大学生である者。大学院生は含まない。）
- ③ 18歳～25歳の者（1996年1月1日から2003年12月31日の間に生まれた者）
- ④ FISUワールドユニバーシティゲームズ（2021/成都）でメダル獲得を目指せる日本テコンドー界の期待に応え得る競技力を持つ者
- ⑤ 当協会の定める定款、倫理規程その他諸規程を遵守している者
- ⑥ その心身の健康状態等に照らし、FISUワールドユニバーシティゲームズ（2021/成都）に参加できる見込みのある者

⑦ 当協会の強化計画を優先して活動できる者

~~⑧ 第14回全日本学生選手権大会（2021年2月14日：兵庫県立武道館）にて選考階級において1位、2位または3位に入賞した者~~

⑧⑨ 第14回全日本選手権大会（2021年3月7日：駒沢体育館）にて選考階級において1位、2位または3位に入賞した者

## (2) 選考階級

男子：-54kg、-58kg、-63kg、-68kg

女子：-46kg、-53kg、-62kg

## (3) 選考方法

原則として、選考会の各階級1位選手を代表選手、2位選手を補欠選手として選考する。

## 5. 留意事項

### (1) 選考対象者の要件の事後的検討の原則禁止

選考実施日後に、選考対象者が前記4.(1)①から⑦のいずれかに該当しないことを理由として選考対象から外すことはできない。

但し、当該選考対象者が故意又は重大な過失により、前記4.(1)①から⑦に関する事実について申告をせず、または虚偽の申告をした場合はこの限りではない。

### (2) 代表選手の追加選考

強化委員会は、代表選手を辞退または解除された選手がいた場合、上記で定める選考実施日に関わらず、必要に応じて代表選手を追加選考することができる。

## 6. 選考に関する不服申立

選考について不服がある場合、選考対象者は、スポーツ仲裁規程に従って、不服を申し立てることができる。

## 7. 代表選手の指定解除

下記①～⑦に該当した場合、強化委員会及び理事会の決議を経て、代表選手の指定を解除する。ただし⑥については、理事会での決議は不要とする。

① 当協会の強化計画を優先した活動ができない場合

② 正当な理由なく強化方針及び指示に従わない場合

③ 当協会の定める定款、倫理規程その他諸規程違反を犯した場合

④ 代表選手として不適切な言動や行動を行った場合

⑤ 怪我や疾病によりFISUワールドユニバーシティゲームズ（2021/成都）に参加できな

なくなった場合

- ⑥ 代表選手本人から指定解除の申し出があった場合
- ⑦ FISU（国際大学スポーツ連盟）が定める参加条件を満たさなくなった場合

以上